

情報コミュニケーション学会 第15回全国大会プログラム

大会テーマ：「地域共創とコミュニケーション」

2018年3月10日（土）・11日（日）

大手前大学 さくら夙川キャンパス

主催 情報コミュニケーション学会

共催 大手前大学

後援 兵庫県教育委員会

西宮市教育委員会

兵庫県中学校技術・家庭科研究会

地域活性学会関西支部

次世代大学教育研究会

NPO 法人学習分析学会

NPO 法人コミュニティリンク

一般社団法人グラフィックファシリテーション協会

氷上情報教育研究会

情報コミュニケーション学会第15回全国大会 日程表
 第一日目 2018年3月10日(土)

時刻	イベント			
9:00-	受付 2階 A28 教室			
10:00-10:15	オープニングセッション 開会挨拶 2階 A23 教室			
10:30-12:00	一般研究発表 セッション1			
	A1 アクティブラーニング 2階 A21 教室	B1 地域連携・活性 (1) 2階 A23 教室	C1 SNS 2階 A24a 教室	D1 情報活用能力 (1) 2階 A24b 教室
12:00-13:10	昼食			
13:10-14:10	招待講演 『視覚的対話が生み出す理解と参加』 - ビジュアルファシリテーションの実践を通して - 東海大学 教養学部芸術学科 デザイン学課程専任講師 富田 誠 氏 4階 A44 教室			
14:10-14:25	企業展示説明 4階 A44 教室			
14:30-15:00	総会 4階 A44 教室			
15:00-15:30	休憩 (企業展示) 2階 A28 教室			
15:30-17:00	一般研究発表 セッション2			
	A2 システム開発 2階 A21 教室	B2 地域連携・活性 (2) 2階 A23 教室	C2 高等教育 2階 A24a 教室	D2 情報活用能力 (2) 2階 A24b 教室
17:30-19:00	情報交換会 会場：大手前大学さくら夙川キャンパス G棟1階(食堂)			

※ 企業展示は2階のA28教室にて開催しております。(10:00-17:00)

情報コミュニケーション学会第15回全国大会 日程表
 第二日目 2018年3月11日(日)

時刻	イベント			
9:00-	受付 2階 A28 教室			
10:00-12:10	一般研究発表 セッション3			
	A3 プログラミング教 育とアクティブラ ーニング 2階 A21 教室	B3 地域連携・活性 (3) 2階 A23 教室	C3 グラフィックレコー ディング 2階 A24a 教室	D3 社会と情報 2階 A24b 教室
12:10-13:10	昼食			
13:10-13:50	基調講演 テーマ：『多重知能理論と大学教育への応用』 ～多重知能理論によるワークショップ設計とその評価の提案～ 明治大学 教授 阪井 和男 氏 4階 A44 教室			
14:00-16:20	対話型ワークショップ ～オープン・スペース・テクノロジー&グラフィックファシリテーションで考える～ 『地域と共に学びを深める教育活動』 ファシリテーター 明治大学 教授 阪井 和男 氏 グラフィックファシリテーション協会 山田 夏子 氏 CELL フォーラム			
16:20-16:30	クロージングセッション 閉会挨拶 CELL フォーラム			

※ 企業展示は2階のA28教室にて開催しております。(10:00-13:00)

「対話の見える化」への期待

情報コミュニケーション学会第15回全国大会実行委員会
グラフィックチーム一同

新たなチャレンジ！

本大会では新たな取り組みとして、参加者による対話や議論の活性化を促すことを目的に、すべての研究発表と講演に「対話の見える化」するグラフィックファシリテーションを取り入れ、登壇内容の共有を図ります。二日目にはオープンスペーステクノロジーを用いた対話の手法を取り入れ、情報を一方通行にせず、集まった参加者間の双方向コミュニケーションを創発し、NextActionや分野を超えた共創につながることをねらいとした対話型ワークショップを開催します。

これらの新しい取り組みが参加者のみなさまと情報コミュニケーション学会の今後の活動に寄与することを期待し、みなさまと一緒にこの新たな取り組みにチャレンジしたいと思います。

注目される「対話の見える化」

現在、絵や図などを用いて行われる「対話の見える化」については、「リアルタイムドキュメンテーション」、「スケッチノートイング」、「グラフィックファシリテーション」、「グラフィックレコーディング」、「ビジュアルファシリテーション」などさまざまな呼称で、企業をはじめ、さまざまな対話や議論の場面で活用されています。

これらはビジュアリゼーションとして、“ある事象を可視化させること”で共通しており、その中でグラフィックファシリテーションは『議論を可視化させ、円滑なコミュニケーションを促す技術』とされる今注目のファシリテーション手法です^[1]。

グラフィックファシリテーションとは？

対話が見える化することで、場の活性化や相互理解を促す技術です。会議やワークショップなどで話される内容を、グラフィックを使いながらリアルタイムに見える化していくことで、場を活性化させ、議論を深め、共感や相互理解を促すことができます。その結果、効率的な議論の拡散と収束が可能となり、新しいアイデア発想、合意形成、課題解決などに繋がります^[2]。



参考

[1]VISUAL SHIFT：“グラフィックレコーディングの正体とは何か” http://visual-shift.jp/detail_40.html

[2]グラフィックファシリテーション協会：“グラフィックファシリテーション” <http://grafaci.or.jp/what>

招待講演

視覚的対話が生み出す理解と参加 ～ビジュアルファシリテーションの実践を通して～

東海大学 教養学部芸術学科 デザイン学課程専任講師
富田 誠 氏



富田 誠 氏

武蔵野美術大学基礎デザイン学科卒業。早稲田大学大学院国際情報通信研究科修了。IT&デザイン系のスタートアップ創業、早稲田大学政治学研究科助手などを経て、現職。早稲田大学ジャーナリズムコース非常勤講師を始め、企業や公益法人のアドバイザーなど。専門は視覚化。近年は参加型デザインや当事者デザインに力を入れて取り組んでいる。

2018年3月10日(土) 13:10-14:10

A棟4F A44教室

基調講演

『多重知能理論と大学教育への応用』
～多重知能理論によるワークショップ設計とその評価の提案～

明治大学 教授
阪井 和男氏



阪井 和男 氏

1952年和歌山生まれ。1977年東京理科大学理学部物理学科卒業、1985年博士課程退学。ソフトハウスに勤務し、1987年理学博士取得。サイエンスライターを経て1990年明治大学法学部専任講師。1998年から教授。明治大学サービス創新研究所所長。ドラッカー学会理事等。著書、論文も多数。

2018年3月11日(日) 13:10-13:50

A棟4F A44教室

3月10日(土) 10:30-12:00 一般研究発表 セッション1

A1: アクティブラーニング

会場: 2階 A21 教室 座長: 丹羽量久 (長崎大学)

10日(土) 10:30-12:00

A1-1 大学の正課・正課外活動を連携させた協働学習の実践

○杉原麻美 (淑徳大学)

○発表予定者

◎発表予定者 (学部生)

A1-2 アクティブ・ラーニング型授業についての学生の認識

◎高橋文音 (青山学院大学), ◎久保結季 (青山学院大学), 寺尾敦 (青山学院大学)

A1-3 アクティブ・ラーニングに対応した情報授業用テキストの設計と利用状況の分析

○福田美誉 (株式会社ワークアカデミー), 石徳優子 (株式会社ワークアカデミー)
松田正浩 (株式会社ワークアカデミー)

A1-4 「情報学」を学ぶ授業における、アクティブラーニングの実践検討

○森屋裕治 (名古屋女子大学短期大学部)

B1: 地域連携・活性 (1)

会場: 2階 A23 教室 座長: 庄司一也 (徳山大学)

10日(土) 10:30-12:00

B1-1 コマーシャルビデオの制作と地域活性化プロジェクトの活動報告

○栗田るみ子 (城西大学), 草野素雄 (城西大学), 高橋欣也 (城西大学)

B1-2 総合的な学習の時間での実施を想定した「仕事体験学習」の教材開発と評価

○高橋朋子 (大和大学), 福田美誉 (株式会社ワークアカデミー)

B1-3 共創の手法を用いた地域センシング

～茨城県ひたちなか市那珂湊の実践例から～

○槌屋洋亮 (青山学院大学)

B1-4 アニメ聖地巡礼を活用した地域活性化

～静岡県沼津市・奥駿河湾海浜祭の事例から～

○谷村要 (大手前大学), 石原一将 (大手前大学), 前田将 (大手前大学)
松本直樹 (大手前大学)

C1 : SNS

会場：2階 A24a 教室 座長：工藤英男（太成学院大学）
10日(土) 10:30-12:00

- C1-1 LINE グループにおいて返信を待たせる側のメンバーにネガティブ感情が生じる比率：グループの種類及びLINEへの依存の影響
○加藤尚吾（東京女子大学），小澤康幸（明星大学），加藤由樹（相模女子大学）
宇宿公紀（東京都立八潮高等学校）
- C1-2 LINE メールにおけるスタンプの役割及びその有用性の評価に与える性別とLINE依存度の影響
◎小澤康幸（明星大学），加藤尚吾（東京女子大学），加藤由樹（相模女子大学）
- C1-3 LINE メールにおいて相手からの返信がなかなか届かない時に生じる感情：未読状態／既読状態及びLINE依存度の影響
○加藤由樹（相模女子大学），加藤尚吾（東京女子大学），小澤康幸（明星大学）
- C1-4 ツイート収集サービス「ツイート集めるくん」の構築
○岩井憲一（滋賀大学）

D1 : 情報活用能力（1）

会場：2階 A24b 教室 座長：波多野和彦（江戸川大学）
10日(土) 10:30-12:00

- D1-1 大学入学予定者を対象とした協働力・情報活用能力育成型学習プログラムの開発
○石徳優子（株式会社ワークアカデミー），福田美誉（株式会社ワークアカデミー）
松田正浩（株式会社ワークアカデミー）
- D1-2 一般情報教育における情報セキュリティの知識体系に関する検討
○上繁義史（長崎大学），長瀧寛之（岡山大学），辰己丈夫（放送大学），稲垣知宏（広島大学）
- D1-3 コンピュータ実習系科目における地域連携型授業実践
○石井雅章（神田外語大学）
- D1-4 社会のイノベーションを志向する情報教育の体系化
○大西洋（京都市立西京高等学校）

3月10日(土) 15:30-17:00 一般研究発表 セッション2

A2：システム開発

会場：2階 A21 教室 座長：阿部一晴（京都光華女子大学）

10日(土) 15:30-17:00

- A2-1 文書ベクトル化手法を活用したユーザーズに応じた新聞記事検索システム
○奥翔治郎（株式会社リアルグローブ），大畑貴弘（株式会社リアルグローブ）
市瀬龍太郎（国立情報学研究所），栗山健（学研教育総合研究所）

- A2-2 スピーク・ロウ：大学講義における授業関連私語の許容タイミングの可視化
○木村敦（日本大学危機管理学部）

- A2-3 クラウドを活用した共有システムの開発
○松本多恵（島根大学研究・学術情報機構総合情報処理センター）

- A2-4 北海道千歳市における市民投稿型の道路異常共有システムの実証開発
○栗津千尋（千歳科学技術大学大学院），小松川浩（千歳科学技術大学大学院）
山川広人（千歳科学技術大学）

B2：地域連携・活性（2）

会場：2階 A23 教室 座長：小田桐良一（園田学園女子大学）

10日(土) 15:30-17:00

- B2-1 集团的課題解決における転換モメンタムとフィールドワークからの知見
○亀井省吾（産業技術大学院大学），小山裕司（産業技術大学院大学）

- B2-2 地域の自律に向けた広報的コミュニケーションの可能性
◎石川沙希（龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科）

- B2-3 学校の関与を通じた地域情報の発信
○吉見憲二（佛教大学）

- B2-4 Jリーグクラブにおける情報発信の工夫とファンの自発的な行動
◎山田隼輔（佛教大学），吉見憲二（佛教大学）

C2：高等教育

会場：2階 A24a 教室 座長：館宜伸（金沢工業大学）

10日(土) 15:30-17:00

- C2-1 地域観光資源を活用した PBL:富山調査プロジェクト
～地域課題・魅力の SNS 情報発信～
○庄司一也（徳山大学），柴田怜（富山短期大学）
- C2-2 地域の水辺と市民を”環境科学”でむすぶ「寝屋川クリーン作戦！！」
～工学系キャリア教育における地域コミュニケーションの報告～
◎澤野翔哉（大阪電気通信大学工学部環境科学科）
◎白岩規孝（大阪電気通信大学工学部環境科学科）
◎谷口健太（大阪電気通信大学工学部環境科学科）
田中孝徳（大阪電気通信大学工学部環境科学科）
高岡大造（大阪電気通信大学工学部環境科学科）
中田亮生（大阪電気通信大学工学部環境科学科）
○齊尾恭子（大阪電気通信大学教育開発推進センター）
- C2-3 地域と安全を ICT 技術でむすぶ地域共創型防犯ナレッジベース「寝安ポート」
～工学系キャリア教育における地域コミュニケーションの実例～
◎長畑和樹（大阪電気通信大学工学部電気電子工学科）
◎布村玲士（大阪電気通信大学工学部電気電子工学科）
伊藤義道（大阪電気通信大学工学部電気電子工学科）
川口雅之（大阪電気通信大学工学部環境科学科）
○齊尾恭子（大阪電気通信大学教育開発推進センター）
- C2-4 美術科教員を目指す学生に向けた「数学の美」とのコミュニケーション
○大岩幸太郎（大分大学）

D2：情報活用能力（2）

会場：2階 A24b 教室 座長：岩井憲一（滋賀大学）

10日(土) 15:30-17:00

- D2-1 コンピュータ教室の学生による評価の測定に関する一考察
○谷本和也（大手前大学）
- D2-2 小学生におけるブロックコーディングからテキストコーディングへのステップアップの試み
○寺園聖文（キッズプログラミングスクール 8x9）
森田康太郎（キッズプログラミングスクール 8x9）
吉田研一（キッズプログラミングスクール 8x9）
- D2-3 情報リテラシー教育における反転授業の導入と評価
○橋本はる美（摂南大学），堀井千夏（摂南大学），栢木紀哉（摂南大学）
- D2-4 教員に求められる情報活用能力にかかわる一考察
○波多野和彦（江戸川大学），中村佐里（自由学園），三尾忠男（早稲田大学）

3月11日(日) 10:00-12:10 一般研究発表 セッション3

A3：プログラミング教育とアクティブラーニング

会場：2階 A21 教室 座長：針尾大嗣（摂南大学）

11日(日) 10:00-12:10

- A3-1 インタプリタとの会話からはじめるプログラミング言語教育
○山本恒（ICT活用教育研究所），吉位敬介（兵庫県立川西緑台高等学校）
- A3-2 教職課程履修学生を対象としたプログラミング学習教材の活用と考察
◎中谷有里（芦屋大学），若杉祥太（芦屋大学），藤本光司（芦屋大学）
林泰子（芦屋学園短期大学）
- A3-3 自己調整学習を取り入れたプログラミング教育の実践と評価
－LMSの活用による対話的・主体的で深い学びを目指して－
○納庄聡（甲子園学院高等学校），若杉祥太（芦屋大学），中谷有里（芦屋大学）
藤本光司（芦屋大学）
- A3-4 教職科目におけるインストラクショナルデザインを用いたアクティブラーニングの展開（3）
-中学校技術科教育における「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業モデルの検討-
○北村絵梨加（芦屋大学大学院），藤本光司（芦屋大学），盛谷亨（芦屋大学）
若杉祥太（芦屋大学），瀧巖（芦屋大学）
- A3-5 相互評価を組み入れた学習課題による批判的思考力育成の可能性
○丹羽量久（長崎大学），正田備也（長崎大学），福澤勝彦（長崎大学），三根真理子（長崎大学）
- A3-6 ICTとアクティブラーニングを活用した地域課題の解決
○細江哲志（横浜商科大学），田尻慎太郎（横浜商科大学），秋山友志（横浜商科大学）

B3：地域連携・活性（3）

会場：2階 A23 教室 座長：高橋朋子（大和大学）

11日(日) 10:00-12:10

- B3-1 「地域と学校がつながる授業 ～私立進学校での実践～」
○池田拓也（灘高等学校），飛田敦子（認定 NPO 法人コミュニティサポートセンター神戸）
- B3-2 IT を活用したボーダレスな社会的課題解決の推進
○西谷友彬（Code for Kobe）
- B3-3 公民館で実施した学生主体のパソコン講習会の実践報告
○館宜伸（金沢工業大学）
- B3-4 地域支援・教員研修としての動作法における ICT 機器の導入に関する研究
○田中紀行（畿央大学教育学研究科）
- B3-5 まちまもりの提案
◎西建人（関西大学），益谷望史（関西大学）
- B3-6 「聞き書き」による多世代の交流がもたらすもの
—「伊丹聞き書きプロジェクト」の実践を通じて—
○畑井克彦（阪神・智頭 NPO センター）

C3：グラフィックレコーディング

会場：2階 A24a 教室 座長：鴨谷真知子（Cross Media +Design）

11日(日) 10:00-12:10

- C3-1 ビジュアルシンキングとリードフォーアクションを活用したイノベーション教育への取り組み
○大塚毅彦（国立明石工業高等専門学校・建築学科）
- C3-2 面的思考とグラフィックレコーディング
知識の解釈を広げるビジュアルリテラシー教育の可能性
○安武伸朗（常葉大学），福土夏季（シャープ株式会社）
- C3-3 一対一の対話の場における視覚化の手法
～コーチング的メソッドを取り入れた一対一の視覚的対話「可視カフェ」の実践～
○関美穂子（アラワス），富田誠（東海大学）
- C3-4 介護・福祉業界及び地域包括ケアにおけるグラフィック・グラレコの可能性
～「むす部」結成と今後～
○川原諭（医療法人社団弘成会江井島在宅介護支援センターライフ明海）
○上村久美子（医療法人橘会万年青在宅事業部居宅介護支援事業所万年青）
○二瓶智充（アサヒサンククリーン株式会社営業部）
- C3-5 発達障害者を含む対話の場におけるグラフィックファシリテーションの活用事例
鈴木さよ（凸凹フューチャーセンター），○細田拓成（凸凹フューチャーセンター）
杉原早織（凸凹フューチャーセンター），上田雅継（凸凹フューチャーセンター）
○宮崎稔也（凸凹フューチャーセンター），○奥野美里（凸凹フューチャーセンター）
- C3-6 グラフィックファシリテーションを活用した授業の試み
～防災教育「防災リテラシー」科目における実践報告～
○鈴木沙代（TAGAYASU），太田敏一（防災科学技術研究所客員研究員）
渡部守義（国立明石工業高等専門学校）

D3：社会と情報

会場：2階 A24b 教室 座長：友野典男（明治大学）

11日(日) 10:00-12:10

- D3-1 直感性が被監視感と主観的幸福度に与える影響：
クラウドソーシングを用いた調査から
○後藤晶（山梨英和大学），友野典男（明治大学）
- D3-2 長時間労働のインセンティブ
○脇みどり（明治大学）
- D3-3 履修証明制度を活用した地域公共人材の育成
○武蔵勝宏（同志社大学）
- D3-4 政策開始における政策担当者と外部主体とのコミュニケーションの重要性
○本田正美（東京工業大学），梶川裕矢（東京工業大学）
- D3-5 小豆島の観光マーケティングにおける地理的希少性
強調シナリオのファジィ条件つき情報量モデル
○権善喜（明治大学），後藤晶（山梨英和大学），山下洋史（明治大学）
- D3-6 文字認識による手書き計算演習支援システム
○上乾翔（近畿大学大学院），越智洋司（近畿大学理工学部）

展示・広告

情報コミュニケーション学会第15回全国大会は企業のご協力を得て実施しています。

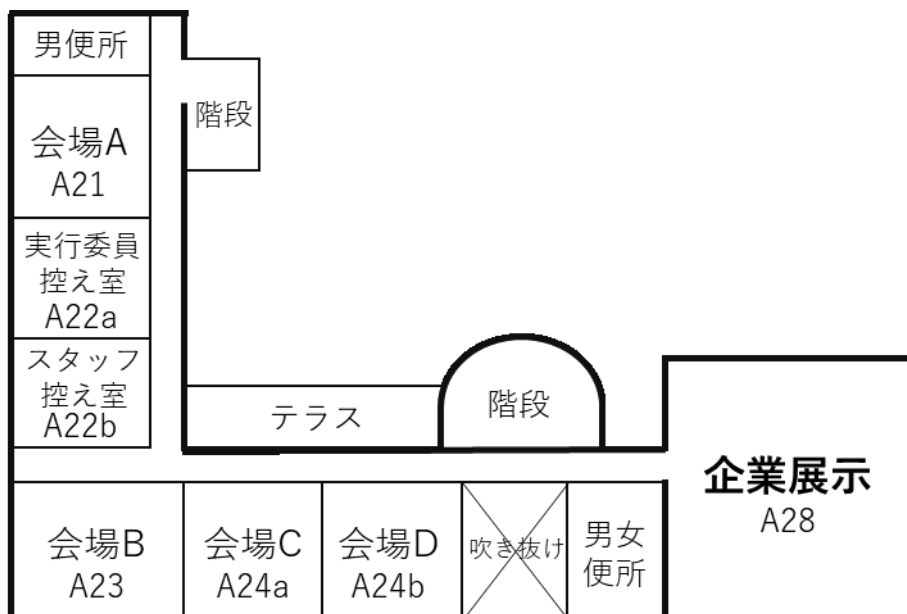
【企業一覧（順不同）】

- 株式会社アップ
- 株式会社アルゴ
- 株式会社Jストリーム
- 株式会社テクニカルニットウ
- 株式会社デジタル・ナレッジ
- 株式会社デジタルシープラーニング
- 株式会社ワークアカデミー noa 出版
- 西日本電信電話株式会社
- コクヨマーケティング株式会社
- 日本文教出版株式会社
- パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社
- フォトロン M&E ソリューションズ株式会社
- 三谷商事株式会社

企業展示

展示会場： A棟2階A28教室

展示期間： 3月10日10:00-17:00 3月11日10:00-13:00



情報コミュニケーション学会 会員募集のお知らせ

情報コミュニケーション学会（Japan Association for Communication Information and Society）は情報通信ネットワークやコンピュータなどにより高度に情報化された社会におけるコミュニケーションについて学際的に研究することを目的とし平成16年2月28日に設立されました。本学会は日本学術会議協力学術研究団体に指定されています。

情報コミュニケーション学会 設立趣意書

近年、世界的な規模でのグローバル化・情報化は、私たちの社会生活やライフスタイルに大きな変化を与えています。高度に発達した情報環境の中で、時間や距離を超え、さまざまな人種、文化、宗教、価値観などをもちた人々が共存する豊かな共生社会の創造が望まれます。このような中、「情報コミュニケーション学会」は、情報通信ネットワークやコンピュータなどにより高度に情報化された社会におけるコミュニケーションについて、学際的に研究することを目的としております。コミュニケーションは、人と人、人と集団、集団と集団の間で生まれます。そこでの情報機器を介したコミュニケーションの働きや社会的役割、問題点などを解きほぐし、情報の収集・処理・発信・伝達など目的を持った主体的なコミュニケーションについても、研究していきたいと考えています。これらの取り組みにより、情報コミュニケーションという概念が、ひとつの新しい分野として確立できることを願っています。また、教育の現場においては、小学校からさまざまな場面でコンピュータが活用され、高等学校では情報を体系的に学ぶために教科情報が設置・実施されるようになりました。学校では先生方の熱心な取り組みにより、試行錯誤を繰り返し、悩みながら、問題を一つひとつ解決しているのが実情です。そこで、本学会は、情報コミュニケーションに関心のある小学校・中学校・高等学校・大学の教員が中心となり、情報交換・交流の場としての役割を果たし、実践的な研究をとおしてよい教育をおこなうための原動力になることも願っています。情報コミュニケーション学会については、平成15年2月8日、80名の賛同者を得て設立準備会を実施し、平成16年2月28日の設立総会で正式に発足の運びとなりました。情報コミュニケーション学会設立の趣旨に賛同いただき、多くの皆様にご入会いただきますようお願い申し上げます。

入会申込書ダウンロード URL <http://www.cis.gr.jp/nyuukai.html>

参考:2017年度の会費等

- ・入会金 1,000 円
- ・年会費（正会員） 7,000 円
（但し、幼・小・中・高校教員および教育委員会などの関係者は特別割引制度適応で 3,000 円）
- ・年会費（学生会員:学部学生） 1,000 円

情報コミュニケーション学会第15回全国大会実行委員会

(敬称略 五十音順)

大会実行委員長

- 鳥越 皓之 (大手前大学)

大会実行委員・大会実施責任者

- 畑 耕治郎 (大手前大学)

大会実行委員

- 阿部 一晴 (京都光華女子大学)
- 小田桐 良一 (園田学園女子大学)
- 垣東 弘一 (園田学園女子大学短期大学部)
- 鴨谷 真知子 (Cross Media +Design)
- 岸田 隆博 (丹波市教育委員会)
- 工藤 英男 (太成学院大学)
- 坂井 貴行 (兵庫県立武庫荘総合高等学校)
- 佐藤 万寿美 (伊丹市立伊丹高等学校)
- 庄司 一也 (徳山大学)
- 谷本 和也 (大手前大学)
- 西尾 信大 (大手前大学)
- 西端 律子 (畿央大学)
- 丹羽 量久 (長崎大学)
- 針尾 大嗣 (摂南大学)
- 藤本 光司 (芦屋大学)
- 松永 公廣 (名古屋学院大学)
- 森石 峰一 (大阪電気通信大学)
- 山本 恒 (ICT 活用教育研究所)
- 横山 宏 (大阪電気通信大学)
- 米田 浩 (尼崎市立立花西小学校)

情報コミュニケーション学会第15回全国大会プログラム

発行日：2018年3月10日

発行者：情報コミュニケーション学会

事務局：〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1

園田学園女子大学 情報教育センター

E-mail：cis@sonoda-u.ac.jp

U R L：http://www.cis.gr.jp/